

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	乳児保育論		
担当者(Instructors)	芝田 育彦	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

## ■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

乳児保育の意義と目的を学び、多様な保育の場における乳児保育の現状と課題を理解する。3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容を理解するとともに、職員間の連携・協働と保護者や地域との連携についても学ぶ。そして、参考資料等を使用しての授業と、実践を通しての授業を2つの大きな柱と考え、乳児の毎日の成長から見つけられる問題点と、その問題点をどのように解決していくかを伝えると同時に、乳児と保育者の関わり合いの中から、一人一人の成長から得られる感動を共有する事の大切さと、共有出来る喜びも伝えていく。さらに、乳児関係専門機関との連携を密にしなければならない、現在の社会の中での乳児保育の必要性和重要性を学ぶ。

## ■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	参考文献を使用する方法と、乳児人形を使用しての実技の両方を、必要に応じて使い分けて、学生参加型中心の授業方法とする。

## ■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	乳児保育の現状と課題について	現在の乳児保育の状況と、問題点について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第2回	保育所（こども園を含む。）内の乳児保育の1日について	保育所（こども園を含む。）内の乳児保育の1日の流れと、その中での保育士の役割を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	成長過程（6か月未満）に於ける乳児保育について	6か月未満の乳児保育と、その中での保育士の役割を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第4回	成長過程（6か月から1歳6か月）に於ける乳児保育について	6か月から1歳6か月の乳児保育と、その中での保育士の役割を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第5回	成長過程（1歳6か月から2歳6か月）に於ける乳児保育について	1歳6か月から2歳6か月の乳児保育と、その中での保育士の役割を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第6回	乳児保育の中の環境について	乳児保育を実践する中で、環境の大切さと保育士の役割を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第7回	乳児保育の中の保健活動について	乳児保育を実践する中で、保健活動の重要性和保育士の役割を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第8回	乳児保育と保育計画について	乳児保育の中の保育計画の必要性和、記録の持つ意味や重要性について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第9回	乳児保育に於ける保護者、保育所（こども園を含む。）、保健所、地域との連携の大切さについて	乳児保育を実践する中で、保護者や保育所（こども園を含む。）の役割、保健所や地域との関係について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	家庭内での子育てと、保育所（こども園を含む。）の中での乳児保育について	家庭内での子育てと、保育所（こども園を含む。）の中での乳児保育の長所や短所を含む違いを学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第11回	乳児の養育環境と、乳児保育の課題について	乳児の養育環境の重要性和、乳児保育を実践する時の養育環境の問題点を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第12回	保育所（こども園を含む。）の育児支援活動について	保育所（こども園を含む。）の中の育児支援活動の重要性和必要性を学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第13回	教材を使用しての乳児保育実技（その1）	乳児保育の中で、実際に役立つ教材作りを行う。（その1）	<input type="checkbox"/>
第14回	教材を使用しての乳児保育実技（その2）	乳児保育の中で、実際に役立つ教材作りを行う。（その2）	<input type="checkbox"/>
第15回	これからの乳児保育と課題や問題点について	現在の乳児保育の課題や問題点を考え、これからの乳児保育の方向性を考える。	<input type="checkbox"/>

## ■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

常日頃から、乳児保育や幼児教育の目に見える表側である、実際の様子や考え方と、保護者の育てていく時に感じる苦勞である裏側に関心を持ち、毎回の授業内容を振り返り、より一層の理解に勤めてください。そして世の中の情報通信を通して、今現在の乳児保育や幼児教育の大切さと必要性を取り入れて、次の授業内容に照らし合わせて、より一層理解を深める努力をする（合計4時間）。

#### ■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

乳児保育では、乳児期に於ける乳児一人一人の成長過程を学び、家庭、保育所（こども園を含む。）、保健所、地域等と連携を密にする事の大切さを学ぶ事によって得た知識を、保育者と言う立場に立つ事で生かして、乳児のみならず地域社会や社会福祉事業全体に貢献していく事を目標とする。

#### ■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	乳児保育全体についての知識を、どの程度深める事が出来たかどうか、乳児保育に関連する技能を、どの程度習得する事が出来たかどうかを、試験により評価する。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	授業に取り組む姿勢や意欲と、日頃の授業態度や授業中でのレポート作成・内容提出を通して、クラス全体の中での個人的評価をする。

#### ■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
60%			15%	25%

#### 授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

その他の割合は、授業内での実技（10%）およびレポート（15%）とする。  
授業内での課題については課題内容についての考え方を記述する。考え方について、正誤を問う事ではなく、一般的な考え方、常識的な考え方の認識を持てる事を目標とする。

#### ■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	乳児保育Ⅰ・Ⅱ	
2		
3		
4		
5		

#### ■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		